

多高通信



第229号 令和6年11月26日発行

さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

普通科1年

地域フィールドワークを実施

10月10日(木)、本校の普通科1年生がフィールドワークに参加しました。この行事は、本校が取り組むSSH(スーパーサイエンスハイスクール)プログラムの一環として、地域の企業や団体、または調査対象地域を訪問し、体系的な学びを通じて各学問分野への興味関心を深めること、そして自ら地域課題発見・解決の糸口を探ることで、課題発見力を向上させることを目的としています。今回のフィールドワークでは、宮城県内の多賀城市や石巻市、塩竈市など県内6コースでフィールドワークを実施しました。各班に分かれた生徒たち



は、それぞれの訪問先で講義や見学、現地調査を行い、積極的に地域との関わりを学びました。このフィールドワークを通して、生徒たちは地域課題に対する理解を深め、今後の学びや探究活動に活かしていく課題発見力を高めることができたと感じます。今後は11月12日(火)に行われる発表に向け、まとめ作業に取り組んでいきます。

災害科学科1年

非常食アレンジレシピコンテスト

2024大賞・カゴメ賞受賞!

災害科学科1年吾郷みさきさん、及川大智さんが参加し、吾郷さんが「大賞」、及川さんが「カゴメ賞」を受賞しました。ほとんどの学校がゼミ活動等で1レシピにつき複数名で参加した中、2人はそれぞれ個人で参加し、書類審査による一次審査を勝ち抜き、決勝大会では試食審査とプレゼンテーションが行われました。吾郷さんは「非常食を使ったグータン」、及川さんは「トマトスープを使った蒸しパン」のレシピを考案しました。カゴメ部門7レシピ、尾西食品部門3レシピ、合計10レシピの中で最も総合得点が高かったのが「大賞」、カゴメ部門で最も得点が高かったのが「カゴメ賞」で、それぞれの受賞となった。

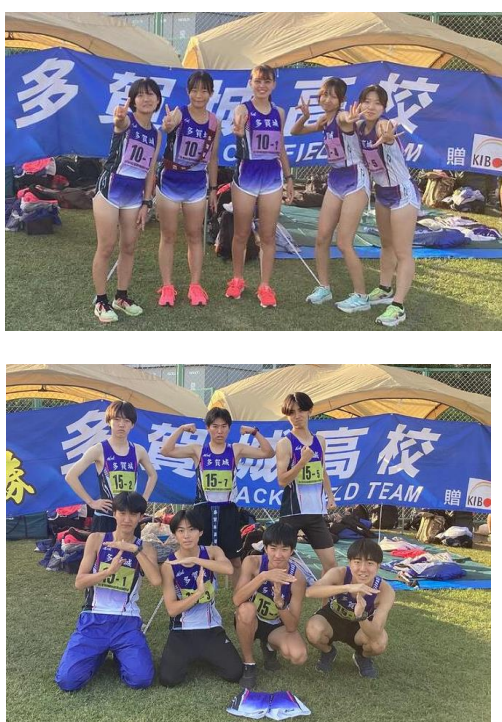


陸上競技部

全国高校駅伝大会宮城県予選会

多賀城高校としては、令和2年以来4年ぶりの出場となりました。今年度より、合同チームの出場も

認められました。合同チームはオープン参加扱いとなり、順位はつかず個人記録(区間記録)のみが認められるということもあり、男子は5月の高校総体で引退していた3年生にも力を借り、女子は短距離選手の手を借りて、単独チームとしてなんとか出場することができました。自分の得意とする距離よりも長い距離を走る人ばかりで苦しい状況で、尚且つ当日は気温も高く、脱水症状で思うような走りができなかった選手もいましたが、お互いにカバーし合いながら走りきることができました。来年も出場し、今年の順位やタイムを上回れるよう練習に励んでいきたいと思えます。



災害科学科1年

多賀城市創建1300年記念事業

新時代の創作オペラ「いしづみの譜」多賀城創世記への出演

11月4日(月)に多賀城市文化センターで行われた、多賀城市創建1300年事業 新時代の創作オペラ「いしづみの譜」多賀城創世記へ、多賀城オペラ合唱団の一員として出演しました。8月から合唱団の練習に参加し、多くの先生方にご指導いただき、無事本番を終えることができました。以下、参加した生徒の感想です。

「オペラは初めての経験であるのに加え、面識のない大人の方と歌うということもあり、緊張しましたが合唱団として私たちが歌う事ができてよかったです。また、人数が多く歌声を合わせる事が難しかったり、普段より高い音域に苦戦したりと課題も

多く見つかりましたが、この経験は確実に私たちの糧になったと感じました。今回の経験を今後の活動や歌に生かして行けたらなと思います!」



柔道部

第74回宮城県柔道新人大会

10月16、18日に新人大会が行われました。

男子団体戦は県総体3位の古川学園に2-3と惜しくも負けてしまいましたが、11月に選手権大会があり、期待の持てる内容でした。また女子の安住紗菜が、合同チームで地区対抗団体戦で勝利で貢献して優勝したのは良い経験となりました。

